

我孫子市都部谷津のナガエツルノゲイトウ観察報告/2023 年度

美しい手賀沼を愛する市民の連合会 顧問 間野 吉幸

手賀沼から取水している水田で特定外来生物のナガエツルノゲイトウ(以下、ナガエ)が繁茂し、稲作に被害を与えています。我孫子市都部谷津の狭い面積でナガエに対し異なった対応をしている地点を選んで、ナガエの生育の違いを比較することにしました。昨年度に引き続き 2023 年度の観察結果を報告します。

協力：浅間茂さん（千葉生態系研究所）、林紀男さん（千葉県立中央博物館）、平原寿一郎さん（岡発戸・都部の谷津ミュージアムの会）、美しい手賀沼を愛する市民の連合会協力メンバー

観察エリア



※対象とする区域：縦約 230m×横約 100m

定点観察地点の状況





地点 A 吐水口に網掛け設置 (種籾袋再利用) ナガエ流入防止 農薬利用

春	夏	秋	冬
2023.4.24 	2023.6.19 	2023.9.25 	2024.2.26
網掛けしてあり、ナガエの田んぼへの進出はなかった。	吐水口網掛け中。稲が伸び始め、中干をしていた。	稲刈が終わり、二番穂が出ていた。ナガエ見当たらず。	田んぼ、農道ともきれいに整備されていた。





地点 B 吐水口に網掛けなし 農薬利用

春	夏	秋	冬
2023.4.24 	2023.6.19 	2023.9.25 	2024.2.26
ナガエはしっかり発芽し田んぼの中まで進出していた。	ナガエが繁茂、田んぼに進出。除草剤の効果出ず。	ナガエが田んぼへ進出し、イネとナガエが絡まるようになっていた。中心部も同様。	ナガエの茎から既に発芽が見られる一方、ナガエの茎が鋤き込まれていた。

地点C 植物競合 遮光シート・吐水口に網掛け設置 農薬なし

春	夏	秋	冬
 <p>2023.4.24</p>	 <p>2023.6.19</p>	 <p>2023.9.25</p>	 <p>2024.2.26</p>
<p>ナガエは取り残した根茎より発芽していた。</p>	<p>遮光シートが張られ、その脇よりナガエが見られた。</p>	<p>遮光シートの脇からナガエが成長。3か所で見られた。</p>	<p>周辺の草とナガエを除去し乾燥中。残ったナガエあった。</p>





地点D 植物競合 吐水口に網掛け設置 農薬なし

春	夏	秋	冬
 <p>2023.4.24</p>	 <p>2023.6.19</p>	 <p>2023.9.25</p>	 <p>2024.2.26</p>
<p>吐水樹の外側で前年のナガエが発芽していた。</p>	<p>ヨシが成長している中で、ナガエの花が見られた。</p>	<p>ナガエは僅かで生息域の拡大は見られなかった。</p>	<p>ナガエは見当たらなかった。冬で枯れた？</p>

地点E 自然状態 吐水口・給水パイプに網掛け設置 農薬なし

春	夏	秋	冬
 <p>2023.4.24</p>	 <p>2023.6.19</p>	 <p>2023.9.25</p>	 <p>2024.2.26</p>
<p>ナガエの侵入で放棄した旧田んぼで発芽がみられた。</p>	<p>旧田んぼでナガエが拡大。田んぼのナガエはなかった。</p>	<p>他の植物の競合区ではナガエ見えず。旧田んぼで繁茂。</p>	<p>旧田んぼ枯草の下にナガエが。ナガエが枯草布団の下に</p>

地点F ミゾソバとナガエの競合を観察 遮光シート・吐水口に網掛け設置 農薬なし

春	夏	秋	冬
 <p>2023.4.24</p>	 <p>2023.6.19</p>	 <p>2023.9.25</p>	 <p>2024.2.26</p>
<p>水路の兩岸にナガエの発芽が始まっていた。</p>	<p>ナガエ繁茂場所の周りに畔シート、その上に遮光シートを張った</p>	<p>遮光シートの周りでミゾソバが繁茂。一部遮光シートの端から上にナガエが進出。</p>	<p>遮光シートの際の枯草の下でナガエが息づいていた。シート上のナガエは枯れていた。</p>

地点 G 農道（焼却実験場所） 農薬なし

春	夏	秋	冬
			
春草をかき分けるとその中にナガエが確りと発芽。	焼却実験跡でもナガエの生育が見られた。	農道に草が繁茂、同じようにナガエも繁茂していた。	農道の草は殆ど枯れて、ナガエも見当たらなかった。

ナガエ対策—1 吐水口への網掛け

地点 C、D、E、F はこの地域で活動している岡発戸・都部谷津ミュージアム会が、6 か所で吐水口等に網かけを行い、ナガエ流入防止の維持管理を行い始めた。これにより新たなナガエの流入は抑えられた。また地点 E の水を使っている農家からはナガエが流入しなくなり感謝されている。



ナガエ対策—2 遮光シート実験

遮光シートは 2023 年 5 月の地点 F（実験場所）と地点 C に設置し、2 年間遮光効果を検証する実験を始めた。当面は遮光シートの際での植物の発生状況を観察することになった。

観察結果

- 網掛けあり（地点 A）と網掛けなし（地点 B）では、ナガエの繁茂状況が雲泥の差であった。地点 A はナガエの被害がなかったが、地点 B はナガエが田んぼに侵入し稲の収穫に影響を及ぼした。
- 地点 C～F までは吐水口等に網掛けし、流入の防止を図った。この地点では網掛けなし以前のナガエ繁茂状況と変わらなかった。除去作業しシート掛けした地点でナガエは大幅に減少した。
- 農道に放置されたナガエは昨年度の焼却実験場所を含め、草の下で成長していた。冬は枯れていた。

地点別ナガエ対策対応一覧

摘要	地点 A	地点 B	地点 C	地点 D	地点 E	地点 F	地点 G
農薬使用	○	○	×	×	×	×	×
網掛け	○	×	×→○	×→○	×→○	×→○	×
遮光シート	×	×	×→○	×→○	×→○	×→○	×
ナガエ繁茂動向	なし	大幅拡大	除去作業 大幅減少	現状維持	現状維持	除去作業 大幅減少	拡大

凡例：○…あり、×…なし